

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境清掃部一般管理				整理番号	672		枝番号		
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	659
係名 庶務係				上位施策名				No			
予算事業名		環境清掃部一般管理		コード	65100		環境施策の枠組みづくり			16	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区組織条例						
	環境清掃部職員				(2) 杉並区職員の旅費に関する条例						
	環境清掃部職員				(3) 職員標準事務取扱要綱						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
・職務上必要な出張時の旅費等の費用弁償 ・業務上必要な事務用品類の購入及び事務機の保守等 ・部内各課の連絡調整				環境清掃事業の円滑な運営							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 環境清掃部職員数				(1) 予算執行率							
(2)				(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	人	380	362	354	354	345				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	47.8	64	100	54.3	100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,143	2,561	4,154	2,257	4,158	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円		88	147	147	147				
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	13,491	13,650	13,590	13,590		13,590		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +	千円	15,634	16,211	17,744	15,847	17,748				
	単位あたりコスト(-)÷	円	41,142	44,782	50,124	44,766	51,443				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	15,634	16,211	17,744	15,847	17,748				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)				
	出張時の旅費等						887				
	再生紙購入						400				
	事務機リース代・消耗品購入等						823				
	事務機の保守委託						147				
	その他 ()						0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	54.3
需用費が減少し、例年に比べ実績が減少した。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
予算総額については概ね例年どおり推移しているが、17年度未執行だった職員事務費については18年度から予算計上していない。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度に清掃事業が移管され、組織改正により職員数が大幅に増加したため予算額(旅費)が増額した。平成14年度からは、用品基金の廃止に伴い再生紙を部で一括購入することとなったため、予算額(需用費)が増加した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	全職員にパソコンが設置され、情報伝達及び提出書類のペーパーレス化が推進されるが、一方で情報量が増加し電子複写機(印刷機)への機能依存が高まる。ただし19年度には財務会計をはじめとするシステムが一新されるため、この影響がどのようになるかは不明である。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 環境清掃部の業務を円滑に遂行していくために必要である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 再生紙の縮減(用紙使用量の削減のためISOの行動内容を徹底する。)				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 職務遂行のための経理であるため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 職員の個人情報に関する扱いがある。また、職員の連絡調整に部外者が携わるのは望ましくない。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 伝達系の会議はメールの活用等により縮減を図る。電子複写機の使用については情報量が増大し、増加が見込まれるが、ISOの環境マネジメントシステムによる使用ルール徹底する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民等の情報公開制度に直結する可能性のある文章については、用紙の裏面再利用ができない。それ以外の用紙については裏面再利用を徹底する。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	パソコンを活用した情報伝達が定着され、文書管理システムの稼働によりペーパーレス化が推進されるものの、多様化する会議の資料等については紙の削減は難しい。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境博覧会開催				整理番号	673		枝番号	
担当部課名	環境清掃部環境課環			コード	230101	連絡先電話番号	3398-3195		昨年度整理番号	660
係名	環境都市推進担当				上位施策名				No	
予算事業名	環境先進都市の創造			コード	65500	環境施策の枠組みづくり				16
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 「杉並区21世紀ビジョン」推進プラン					
	全ての区民、団体、企業				(2) 環境基本計画					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3)					
高井戸地域区民センター主な会場として、毎年10月開催を基本に、区民、関係団体、企業、行政が協働して環境についての理解を深め、日常生活や活動に結びつくような多彩な企画内容からなる環境配慮行動啓発イベントを開催する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
環境配慮行動の必要性、重要性を理解し、実際に行動する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 博覧会来場者数				(1) 博覧会来場者数(来場者/区人口)						
(2) 出展・協力団体数				(2) (代)出展・協力団体数						
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	人	16,500	15,818	20,000	14,721	20,000	20,000	73.6	
	活動指標(2)	団体	133	134	130	128	130			
	成果指標(1)	%	3.15	3.01	3.81	2.80	3.81	3.81	73.5	
	成果指標(2)	団体	133	134	130	128	130			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	9,845	9,989	10,000	9,997	10,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円								
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.23	3.12	3.10	2.75	2.10	0.50		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	29,051	28,392	28,086	24,915	19,026		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	1,445		
	総事業費 + +	千円	38,896	38,381	38,086	34,912	30,471			
	単位あたりコスト(-)÷	円	2,357	2,426	1,904	2,372	1,524			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	38,896	38,381	38,086	34,912	30,471			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)			
	環境博覧会開催(ポストイベント開催)				3	日	9,997			
	その他 ()						0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	73.6	活動指標(2)の17年度達成率%	98.5	17年度予算執行率%	100.0
		出展企画の経費は企業、団体の協力によって負担してもらうなど、経費面についても役割分担による協働を進めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		博覧会の企画運営をより区民・民間団体主導のものへとするため、作業部会における議事進行役を区職員から区民へ移行した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度から開催を始め、平成14年度は杉並環境フェア2003、第8回リサイクル・アイデア作品展とも共催し、国際環境フォーラムを中心に開催した。平成15年度より区民・団体・企業との協働をさらに進め、企画立案段階から多数の区民等に参加していただき、博覧会を運営した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	企画・内容・規模とも大変充実したものであるとの評価を、来場者、参加・協力団体より頂いている。一方イベント事業に対して、経費削減せよとの意見も若干ある。					
	今後の予測	さらに環境に対する区民の関心、意識が高まっていくことが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 環境配慮理念の共有化や協働意識の醸成を促進する事業であり、「環境先進都市すぎなみ」の創造性のため、大きく貢献するものである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 出展・企画内容がより多くの来場者が見込める興味のあるものであるか、さらに来場者がより環境配慮行動の必要性を感じ取れるものであるかを精査・吟味する。また区内地域ごとの環境配慮の取り組み状況などを発表展示するなど、地域からの盛り上がりを促していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 参加している企業などからは設営に係る経費を出展料として徴収している。さらに参加団体のそれぞれの展示物等の製作経費は各団体の負担であり、すでに相応分の負担も行われている。また環境博覧会は、来場者から入場料を徴収する性格のイベントではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 参加企業・団体等から協賛金をさらに積極的に募り、区の支出経費を下げる余地はある。今後の具体的取組: 博覧会全体のコーディネイトについても行政から民間に移行できるよう、核となる事業所・団体・NPOを発掘する。					
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 実行委員会を年4回程度、作業部会を年6回程度開催し、区民・事業者等とともに企画・運営を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成18年度からは、区民・民間団体が構成される実行委員会を、実質的に区民主導で博覧会の企画・運営ができるように進める。また、会場の変更、規模・内容の見直しなども検討する。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 主体的に博覧会を運営できる中心的な団体の発掘が困難である。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境保全対策の推進				整理番号	674		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	661	
係名				庶務係				上位施策名		No		
予算事業名				環境保全の推進		コード	65900		環境施策の枠組みづくり		16	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		45年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区環境基本条例 (2) 杉並区環境基本計画 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				環境基本計画及び環境白書の発行。 環境保全意識の普及啓発の手段としての環境パネル展。							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 環境白書の発行部数		(1)						
				(2) パネル展開催回数、パネル貸出回数		(2)						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		部	800	800	1,000	1,000	500				
	活動指標(2)		回	0	3	3	3	3				
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,947	565	2,132	1,716	924	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	1,000								
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,994	9,100	9,060	9,060				9,060
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	10,941	9,665	11,192	10,776	9,984				
	単位あたりコスト(-)÷		円	13,676	12,081	11,192	10,776	19,968				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	10,941	9,665	11,192	10,776	9,984					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		環境白書(本編及び資料編)の作成					1,000	冊	1,059			
		杉並区環境基本計画					200	冊	500			
		環境問題普及啓発							129			
		管理事務費							28			
		その他							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	80.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		パネル展については、平成17年10月の「環境博覧会」、17年12月の本庁舎ロビー、18年2月にあんさんぶる荻窪にて「ポスト環博」を開催した際に環境に関するパネル展示を開催した。活動指標(1)の17年度達成率50.0%は環境白書(資料編)の実際発行部数が半分だったため					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	環境・公害に対する区民の意識は時代の変化とともに大きく変わり、身近な環境問題から地球規模の環境問題にまで至っているため、啓発内容を時代の変化に合わせて変えてきた。また、社会情勢の変化に対応するため、平成14年度には環境基本計画の改定を行った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	環境講座等により幅広い啓発活動や、区民の環境問題学習の場が求められている。					
	今後の予測	環境の世紀にふさわしく、区民・事業者・行政に一層の環境配慮行動が求められている。また、平成18年3月に発行した「杉並の注目動植物―レッドデータブックの実現にむけて」の関心も高く、自然生態系の復元に対する要望が強まると考えられる。すぎなみ環境情報館を活動拠点とした環境ライブラリーの運営や、環境活動の充実等環境基本計画の達成に向けた動きが大きくなっていくと予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 環境白書は環境に関するデータを多く掲載しているため、さまざまな場面で利用されている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: パネル展をより多くの区民に見てもらえるように、今年度は、昨年雨で中止になった打ち水大作戦のパネルも作成し、さまざまな内容のパネル展にする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 環境白書は区内の環境の現状と課題を区民に報告するものであるため、無料配布が望ましいと考える。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 環境白書の編集方針の検討、印刷の方法等を考慮すると、区民へのアピール力ある白書作りをするためには、コストを下げるのは厳しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 環境問題は、国・都レベルの施策に負うところが大きい。啓発事業は、区民一人ひとりが問題を認識し、改めて「環境問題を考える」きっかけとなるため、身近な自治体が行う必要がある。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境基本計画の達成に向けて、進捗状況等を区民が理解できる報告書について検討して行く。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	多くの区民の目に触れることのできるパネル展示や打ち水大作戦、区の事業の報告である環境白書の発行を継続して実施していくことで、区民の環境に関する意識の向上が期待できる。また、予算面では、開催回数が増ただけではなく、内容についても検討し、より充実したものになるよう努める。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境清掃審議会運営				整理番号	682		枝番号		
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	670
係名 庶務係					上位施策名					No	
予算事業名 環境清掃審議会運営					コード	65300		環境施策の枠組みづくり			16
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 環境基本法第44条 (2) 杉並区環境清掃審議会条例 (3) 杉並区環境清掃審議会条例施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 環境基本法(平成5年法律第99号)第44条の規定に基づく区長の付属機関として、区の環境保全並びに廃棄物の適正な処理及び再利用の促進に関して必要な事項を調査審議する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区の環境清掃行政に関し、区民等の意向を区政に反映させる。						
	活動指標名(式) (1) 環境清掃審議会の開催回数 (2) 審議・報告案件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 委員の出席率 (2)						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		回数	5	6	6	6	7			
	活動指標(2)		件	57	36	40	48	50			
	成果指標(1)		%	89	90	100	83	100			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,167	1,823	3,562	1,673	3,562	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	375	369	765	244	765			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.90	1.38	1.38	1.38	1.38			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,095	12,558	12,503	12,503			12,503
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	9,262	14,381	16,065	14,176	16,065			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,852,400	2,396,833	2,677,500	2,362,667	2,295,000			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	9,262	14,381	16,065	14,176	16,065				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		審議会委員報酬					109	人	1,308		
		審議会運営事務費							365		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	120.0	17年度予算執行率%	47.0
		年度当初、専門的な問題に対する部会設置(6回)を予定していたが、特に諮問する重要事項等がなく部会が設置されなかったため残額が出た。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区的环境清掃行政を進める上で重要な課題を諮問し、調査審議を行って、多方面からの意見を区政行政に反映させていく。また、審議会運営を活気あるものとするため、改選時には随時委員の構成についての見直しを行っていくとともに、環境基本計画及び一般廃棄物処理基本計画を実効性のあるものとするための検討を行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成8年に策定した「環境基本計画」を平成15年に改定し、環境先進都市を目指したさまざまな課題への取組みを推進した。「環境基本計画」を改定した際には、審議会に部会を設置し、環境基本計画のあり方についての答申を出すなど、改定に重要な役割を果たした。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近年、区民の意見・要望・苦情は、迷惑行為の防止や近隣公害の解決、環境美化の推進に関するものが多くなってきている。一方、大気汚染対策や地球温暖化防止、リサイクルに関する施策など、区に先導的役割を期待した意見等もある。21世紀を迎え、区民の環境清掃問題に関する関心はますます高まりを見せている。					
	今後の予測	地球温暖化対策などに関する大きな範疇の施策を実施する場合には、区民の協力を得なければ実施できないものが多い。その、審議会の意見は区政にとって大きな意味を持つこととなる。また、外かく環状線の環境影響評価準備書の説明会が実施され、外かく環状線の環境に及ぼす影響についても関心が高いところであり、審議会の役割はますます重要なものとなる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区的环境清掃に関する施策を進める上で、重要な課題を審議している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 告案件を調整し、重要な審議事項については、十分な時間(開催回数)を設けて議論する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の意図は、区全体の環境保全や快適環境の維持を目的としているものであり、特定の個人や団体に受益が偏るものではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 環境清掃行政に係る合議制の機関として、区内の環境清掃関係団体及び個人の方々が委員を構成する。各種環境団体等からの推薦を受け、委員を委嘱している。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区的环境清掃行政を進める上で重要な課題を諮問し、調査審議を行って、多方面からの意見を区政運営に反映させていく。また、審議会運営を活気あるものとするため、改選時には随時委員の構成についての見直しを行っていくとともに、環境基本計画及び一般廃棄物処理基本計画を実効性のあるものとするための検討を行う。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	今後の環境清掃行政における大きな課題(杉並区環境基本計画の見直しやサーマルリサイクルの本格実施など)については、専門部会の設置が予想されるため、部会開催についての予算が必要となる。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並環境マップ				整理番号	703		枝番号	
担当部課名	環境清掃部環境課			コード	230101	連絡先電話番号	3715		昨年度整理番号	689
係名	環境都市推進担当				上位施策名				No	
予算事業名	環境配慮行動の拡充			コード	65760	環境施策の枠組みづくり				16
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 15 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 全ての区民及び国民				(1) 杉並区環境基本計画 (2) (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 紙ベースで蓄積していた区の環境情報である有害化学物質と動植物生息状況などの情報を電子データ化し、インターネットで広く区民および国民に提供する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が環境情報を容易に取得できるようになり、区民自らが取り組む環境配慮活動の一助となる。					
	活動指標名(式) (1) 目次項目数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)アクセス数 (2)					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		個	17	17	17	17	17		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		回		17,632	20,000	8,392	20,000		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,187	0	300	300	873	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円							
	(内)委託費		千円	5,187	0	300	300	873		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.00	0.10	0.10	0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	899	0	906	906		906
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	6,086	0	1,206	1,206	1,779		
	単位あたりコスト(-)÷		円	358,000	0	70,941	70,941	104,647		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	6,086	0	1,206	1,206	1,779			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		データ整備(委託等)						300		
		その他 ()						0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	17年度予算執行率%	100.0
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	18年度は、環境課職員がある程度のデータの修正ができるよう、コンテンツ機能追加の予算を計上した。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	16年4月から多数の方のアクセスを受けている。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	16年4月から多数の方のアクセスを受けている。			
	今後の予測	16年度末に立ち上げたすぎなみ環境情報館のホームページと同一窓に配置したので、それぞれの相乗効果によりアクセスが増加し、区民には必要な情報を手軽に入手できるようになる。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 環境情報を広く提供する手段として有効。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 提供データの項目の追加等を検討し、より充実した環境マップとしたい。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区公式ホームページによる情報提供なので受益者負担はない。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: データ修正等メンテナンス経費のみの計上となっている。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	理由または具体的内容: 専門業者によるメンテナンスを取り入れながら、行政による運営を行なう。今後の具体的な取り組み: 専門業者によるメンテナンス取り入れながら行政による運営を行なう。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 追加データ項目の検討などより内容を充実させた環境マップとしたい。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 データ更新、追加データの検討など、より内容を充実させた環境マップとしたい。